



手話サークル研究班



～ 「手話サークル研究班」の思い ～

メディアや地域で開催されている手話講習会の影響で手話に興味を持つ人たちが増え、「手話」に対する理解は確実に広がってきました。

でも、「手話」への理解が広がることと、「聴覚障害者」への理解が広がることは、イコールではありません。

手話に関わる時間、年齢等々、さまざまな条件の人たちが集うサークルでは、当然手話技術レベルはまちまちだと思いますが、そこにこだわる前に「手話」を健聴者の自己満足な趣味に終わらせることなく、学んだ手話を通して「聴覚障害者と共に歩む」ということが大切だと思います。

「手話サークル」の役割は、学んだ手話を通し、ろう者と交流しながら「手話」と共に「聴覚障害」に対する理解を深め、聴覚障害者と地域をつないでいく「手話に学ぶ場所」だと考えます。

～ 「手話サークル研究班」のプロフィール ～

☆2004年4月。9名のメンバーで発足。

☆神通研集会・分科会「手話サークル」の運営を担当。

☆その他、神通研・関東通研・全通研の行事、集会に参加。

☆2011年1月現在、川崎2、横浜5、県域10 計17名で活動中!!

～ '10 神通研集会報告⑥ ～

○災害時持ち出し品

<1グループ>

通帳、印鑑、保険証、免許証、身分証明書、家族等の連絡先のメモ、携帯電話、ゴーグル、マスク、梅干し、薬、靴下、靴、スリッパ、タオル、アルミ製の毛布、新聞、ビニール袋、

<2グループ>

現金(10円玉も)、保険証、カロリーメイト、溶けないチョコ、梅干し、水、靴、頭巾、軍手、マスク、メガネ、補聴器、紙皿・コップ、ラップ、ラジオ、携帯電話、電池、筆記用具、ガムテープ、紐、

<3グループ>

現金(10円玉、100円玉も)通帳のコピー、携帯電話、懐中電灯、電池、常備薬、メガネ、補聴器、筆記用具、ビニールシート、新聞、ゴミ袋、ウエットティッシュ、水、レトルト食品、リッツ、ドロップ、缶詰、チーズ

～ 定例会 12/25(土) ～

明けましておめでとうございます。びよんぴよんと元気に飛び跳ねる1年にしていきましょう!

12月25日(土)、定例会を開催しました。

意見交換の中で、いろいろな形で展開されている聴こえない人たちの活動が報告されました。手話を取り巻く世界でも個人での活動が広がりを増しているようです。

集団から個人へと移行していく社会。サークル会員の減少と共に、運動に関わる会員も限られてきています。社会変化にどのように対応していくか。大勢の知恵を出し合っていきましょう。

【次回定例会】'11/1/29(土)

10:00~12:00

かながわ県民センター 12F ボランティアコーナー

～サークル研究班メンバーのささやき～

銭湯が好きで足を伸ばしてゆっくりとお風呂に入りたいたきに利用したり夜行バスで出掛けると時間が許す限り朝から開いている地元の銭湯を調べておいてゆっくり入って緊張をほぐしてから観光を楽しむことにしています。

でも、なるべく荷物を少なく出掛けたいので、お化粧品も最低限。幸いにして化粧しようとスピンだろうとたいては変わらない、はたちちゃん。

来月お誕生日を迎えて「40歳!」(^_^) 今月は、39歳最後の毎日をサンキュー(39)と感謝しながら過ごしたいな。今年もよろしくお願いします(^o^)

～はたちちゃん～